

❖ お薬手帳用シールの例

薬はきちんと効いていますか

(あなたの症状：)は治まりましたか？

お薬の効果を確認するために服用時間と、薬が効かなくなった時間があればそれを記録し、医師や薬剤師に確認してもらいましょう。

月日	月 日				月 日			
薬の服用時間								
	服用量				服用量			
薬の名前								
薬が効いていないと感じた時間								
薬が効いていないと感じたときに、困った症状について具体的に記入してください								
お通じ								
昼間の眠気								
体温								
その他、困っていること								

こんな副作用もちよっと知っておいて！
買い物がやめられない！
むちゃ食いがやめられない！
パチンコがやめられない！

↓
 ほとんど起こることはありませんが、お薬の影響がある場合があります。今までにない衝動的な行動を周りから指摘されたり感じたら、必ず医師に連絡するようにしてください。

眠気に注意！
突発性睡眠という副作用があります。

↓
 ごくまれですが、少し意識が飛んだような状態になることがあります。「テレビを見ていて、ふと気づくと場面が先に進んでいた」といった感じです。車の運転など危険を伴う作業は絶対にしないでください。もしもこの症状が起こったら、医師・薬剤師に必ず伝えてください。

薬が効かないと困るから…

「効かなくなると困るから」と、指示された量より多く飲んだり、服用回数を増やすなど、自己判断での薬の調節は決してしないでください。

↓
 将来、薬の効きが悪くなったり、トラブルの原因になります。飲みたくて困ったら、必ず相談してください。

薬の飲み合わせに注意

この薬の副作用として吐き気などの消化器症状がありますが、OTC薬の胃薬を使用するときには必ず相談してください。

↓
 胃酸を抑える薬は、この薬の吸収を悪くしてしまう可能性があります。

体温を測る習慣を！

発熱したら、早くそれを知り、的確に対応することが必要です。毎日体温を測る習慣をつけ、発熱時は至急受診してください。

↓
 悪性症候群や熱中症など副作用の可能性があります。

お薬の影響で汗の色や尿の色が黒くなる場合がありますが、それはお薬の色です。心配はいりません。

消化器症状に注意！

吐き気、食欲不振、便秘などの副作用が問題となります。また便秘は病気の影響でも起こります。お通じの状態は必ずお知らせください。

↓
 下痢をした後、吐き気、便秘、腹痛などがあった場合は腸閉塞などの可能性もあります。至急受診を！

汗の出方が異常になる場合があります

顔に異常に汗が出たり、下肢に汗が出なくなったり…。困ったらお知らせください。

↓
 顔に汗が出すぎるからといって、水分摂取を控えるようなことはしないでください。

よだれが出て困ったときは…

唾液を無意識に飲み込むことができにくくなっている可能性があります。口の中の唾液を意識的に飲み込むようにしましょう。

緑内障の方は必ずお知らせください

閉塞隅角緑内障の場合、眼圧を高める可能性があります。

↓
 緑内障と診断されていない方でも、強烈な眼の痛みと吐き気がある場合は、眼科を受診してください

お薬は効いていますか？

薬の効きを悪くします。以下のことに注意してください。

- ↓
- ・鉄剤や鉄を含むサプリメントとの併用は避けてください。
 - ・アミノ酸のサプリメントなどは吸収を悪くします。使用するときには相談してください。

痛みはありませんか？

パーキンソン病で痛みが引き起こされることがあります。しかし、パーキンソン病での痛みは、OTC薬の痛み止めでは効果が期待できないといわれています。

↓
 痛みについては、必ず医師・薬剤師にご相談ください。